

2026/10/26

報道関係者各位

アンリツ株式会社

**ヴァレオとアンリツ、5GAA 会合で
SDV 向けデジタルツイン検証ソリューションを共同展示**
～仮想テレマティクスユニットと仮想セルラーネットワークをクラウド上で連携し、
コネクテッドカー開発を加速～



ヴァレオ（Valeo、本社：フランス・パリ、CEO クリストフ・ペリヤ）とアンリツ株式会社（本社：神奈川県厚木市、社長 濱田 宏一）は、2026 年 10 月 26 日から 29 日までインド・ニューデリーで開催される第 39 回 5G Automotive Association (5GAA) 会合において、ソフトウェア・ディファインド・ビークル（SDV）[※]向けの革新的なデジタルツイン検証ソリューションを共同展示します。

両社は、2026 年 3 月に開催された MWC 2026 での共同デモンストレーションを発展させ、緊急通報（eCall）などの新たなユースケースを加えて展示します。本ソリューションは、車載コネクティビティを仮想環境で検証できる評価環境を提供し、実車による走行試験（以下、実車試験）の負担軽減に貢献します。

ヴァレオ・ブレイン・ディビジョン CTO の Gilles Mabire 氏は、次のように述べています。

「車両のソフトウェア・ディファインド化が進む中、シームレスで信頼性の高いコネクティビティは、モビリティの未来にとって極めて重要です。アンリツとの協業を拡大し、eCall のような安全上重要なアプリケーションを含む複雑なネットワーク検証を仮想環境で行えるようにすることで、自動車メーカーによる開発サイクルの短縮、実車試験コストの削減、安全性と拡張性を備えた SDV 機能の市場投入の加速を支援します。」

アンリツ IoT テストソリューション事業部長の星野真司は、次のように説明しています。

「ソフトウェア・ディファインド・ビークルへの移行には、コネクティビティをより効率的かつ高い再現性で検証する手法が求められます。ヴァレオの仮想 ECU プラットフォームとアンリツのコネクティビティ・シミュレーション技術を統合することで、実走行データと再現性の高いラボ検証を組み合わせた、拡張性の高い仮想試験手法を実現します。これにより、開発者は特殊な条件下で発生する通信上の問題を早期に特定・解決し、実車試験への依存を減らすとともに、高品質なコネクテッドカー機能の提供を加速できます。」

複雑化する次世代車載コネクティビティの検証に対応

自動車業界がソフトウェア・ディファインド・ビークル (SDV) へ移行する中、車載コネクティビティは急速に進化し、OTA (Over-the-Air) によるソフトウェアアップデート、クラウド連携、5G/C-V2X 通信などの重要な機能を実現しています。一方、実際の走行環境でこれらのシステムを検証するには、異なるモバイルネットワーク、走行環境、車両状態など、数千通りの組み合わせを試験する必要があります。実車試験のみに依存する場合、コスト、開発期間、再現性、拡張性の面で大きな課題が生じます。

これらの課題に対応するため、ヴァレオとアンリツは、ヴァレオの仮想 ECU シミュレーションプラットフォームとアンリツのセルラー試験技術を統合しました。

本共同ソリューションは、アンリツのソフトウェアベースの In-the-Loop Simulator と、複雑な実環境のネットワーク状態を忠実に再現する仮想エンジンを組み合わせたものです。クラウドまたはローカル環境にデジタルツインを生成することで、自動車メーカーは、複数の通信事業者間 (inter-MNO) のネットワークトポロジーや、複数車両が関与する V2N/V2X などの複雑な条件を、制御可能な拡張性の高い環境でシミュレーションできます。

ヴァレオについて

テクノロジー企業であり、すべての自動車メーカーとニューモビリティプレイヤーのパートナーであるヴァレオは、モビリティをより安全に、よりスマートに、より持続可能にするために、たゆまずイノベーションを行っています。ヴァレオは、電動化の加速、ADAS の加速、インテリア・エクスペリエンスの再創出とライティング・エブリウェアにおいて、技術的・工業的なリーダーです。モビリティの変革に不可欠なこれらの 4 分野は、グループの成長の原動力です。

数字で見るヴァレオ：2024 年のグループ売上は 215 億ユーロ。2025 年 2 月 28 日時点で 106,100 人の従業員を擁し、28 カ国で 155 カ所の工場、64 カ所の研究開発センター、19 カ所の物流拠点を構えています。ヴァレオはパリ証券取引所に上場しています。

詳しくは www.valeo.com をご覧ください。

5GAA について



5G Automotive Association (5GAA) は、自動車、テクノロジー、通信 (ICT) 業界の企業が連携する国際的な業界横断型組織です。将来のモビリティおよび交通サービスに向けたエンドツーエンドソリューションの開発に取り組んでいます。

2016 年 9 月の設立以来、5GAA には、自動車、テクノロジー、通信分野でグローバルに事業を展開する主要企業が参画しています。会員には、自動車メーカー、Tier1 (自動車部品) サプライヤー、チップセット／通信システムプロバイダー、モバイル通信事業者、インフラベンダーなどが含まれます。

詳しくは、www.5gaa.org をご覧ください。

用語解説：

[※] SDV

software-defined vehicles の略で、「ソフトウェア定義車両」と呼ばれる。運転支援機能など、自動車のさまざまな機能を無線通信によるソフトウェア更新によって追加・強化できる車両。

アンリツの製品・ソリューション・その他の情報は、

ソリューション紹介ページ <https://www.anritsu.com/ja-jp/test-measurement/solutions>

および Facebook <https://www.facebook.com/AnritsuTandM> でご覧いただけます。

[報道関係のお問い合わせ先]

アンリツ株式会社

コーポレートブランディング部 鈴木

TEL：046-296-6671

E-mail：PR@anritsu.com